



●不動産・住宅ローン・保険・資産運用・相続など、ライフプランに不可欠なお金の話をFP（ファイナンシャルプランナー）の方々に教えていただきます。

株式会社 ムーラン

代表取締役
ファイナンシャルプランナー
(CFP® 一級ファイナンシャルプランニング技能士)

村田 巖 Iwao Murata



<プロフィール>

1963年8月21日生まれ (53歳)
秋田県立大館鳳鳴高校、東京経済大学卒。
大手住宅メーカー、青森市内の不動産業者を経て、
2008年3月株式会社ムーラン開業。

<その他保有資格>

・不動産コンサルティングマスター ・宅地建物取引士
・管理業務主任者 ・福祉住環境コーディネーター2級 など
※二種証券外務員試験合格者

第30回
「複利で考える」

8月になりました。この季節、離れて暮らす家族が集まるご家庭で、日頃じっくり話することがないお金や相続について話し合うという方もいらっしゃると思います。

私たちFPはお金の専門家という位置づけがなされていますが、私が個人的に重要と考えているのは細かい金融商品知識以前に**複利の効用を知る**ということです。

複利とは…

今、手元に100万円あるとします。
年間5%の利潤を得られれば、1年後には105万円になります。

元手の100万円をそのままに、単純に年間5%の利潤を20年間貯蓄すれば、

$$100万円 \times 5\% \times 20年 = 100万円$$

元手の100万円と合わせれば、

$$100万円 + 100万円 = 200万円$$

になります。これは単利の考え方です。

一方、100万円の元手で20年間複利運用したらどうなるでしょう。

1年後は、単利も複利も105万円に増えて

いる状態と同じですが、2年目に突入すると、複利では1年間で得た利潤も合計された105万円を新たな元手と考えます。

よって、20年後には、
 $100万円 \times 1.05^{20} \approx 約265万円$
単利で計算した場合と比べると複利の方が約65万円多く増えることになります。

複利の効用—ムリがない

例えば手元にある100万円を20年後には300万円にしたいと考えたとします。

20年間で200万円増やそう、3倍にしようということです。

単利の考え方ですと、
 $200万円 \div 20年 = 10万円$
1年間に10万円づつ増やしていかなければいけません。

$10万円 \div 100万円 = 10\%$
初年度から10%の利潤を得なければいけない計算になります。

複利だとどうなるでしょう。
20年間で3倍にするための金利を計算すると、約5.66%。

単利の10%と比べると相当に小さい、したがって、複利で考えた方が最初からムリなく増やしていきやすいということがわかります。

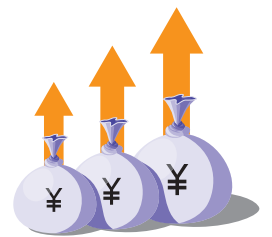
複利の効用の応用

この複利の考え方は様々な場面で利用できますし、実際にされています。

積立型の投資信託や、純金積立も長期にわたって利潤の再投資を行うものであり、価格変動するものではありませんが、重要な要素として複利の考え方を導入しているものです。スタートしてから間もない期間は、単利も複利も大きな差はありませんが、長期化すればするほど、その差は大きなものとなります。

元手100万円、5%の利潤で20年後には単利と複利で約65万円の差が出る旨を記しましたが、これが30年では182万円、40年では、なんと約404万円の差に広がります。

“積み重ねが大事”とは、お金のことに限らず、一般的によく言われることですが、仕事や勉強、スポーツなどにおいても努力し続ける人とそうでない人は複利で差がつく—そんなイメージで日々過ごすと、一日一日をもっと大切にできるのではないのでしょうか。



FP(ファイナンシャルプランナーとは)?

あなたや家族の夢や希望をかなえるための人生設計=ライフプランについて、金融、税制、不動産、保険、年金制度などの知識を備え、あなたの立場で考えアドバイスや資産設計を行い、併せて実行を援助する専門家です。

(公社)青森県宅地建物取引業協会会員 青森県知事免許(2)第3284号



〒030-0821 青森市勝田1-5-12 (みちのく銀行本店北側)

■営業時間/AM9:00~PM6:00※火曜日はPM2:00まで ■休業日/水曜日・祝日
■TEL:017-718-2741 ■FAX:017-718-2742

■URL <http://www.moulin-fp.co.jp> ■E-mail moulin@basil.ocn.ne.jp

不動産の売買、賃貸、管理
ご相談下さい。
相続対策や有効活用法の提案など
総合的にサポートします。

